

登録コード	TSH68500	開講年度	2026			
授業科目	デジタルサービス特論A				担当教員	藤原 洋志 他
英文授業名	Advanced Digital Services A				副担当	小林 一樹・大内 克久
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・5時限	対象学生
講義室	工C3-202教室		授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ					
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				「デジタルサービス特論」においては、サービス創生、社会システム、デジタル技術に関する主要なテーマを選び、技術の詳細、社会実装に向けた課題と解決策、将来動向について、各分野の第一線で活躍する研究者からの講義を通じ、将来の研究者、技術者に必要とされる広い視野を習得することをめざす。 (詳細) サービスデザイン、システム工学、ソフトウェア技術等を含むデジタル分野の先端技術と社会実装について、概要と具体的な取り組み事例を紹介した上で、イノベーションの創生、社会・市場・技術の観点での課題と解決方法、次代を担う研究者・技術者に期待される役割について考える機会を提供する。一連の授業を受講した学生が、自身の専門領域を超えた基本的な知識を習得し、社会において自身に期待される役割について考えを深められることをめざす。	
(2)授業の概要	毎回設定するテーマに深く関連する講師を外部から招いて、国内外のデジタルサービスにかかわる研究開発の動向を俯瞰するとともに、先端的・学術的な研究開発の推進方策、DXイノベーションと産業・地域・大学との関わり等について考える。本授業「デジタルサービス特論A」では、特にデジタルサービス全体としてのデザインやシステム設計の考え方や勘所を習得することをめざす。なお、各回の授業の中で質疑討論の時間も設ける。					
(3)授業計画	原則、講義室での対面授業とするが、一部、回次によってはオンラインでの授業とする場合がある（日程・タイトル・内容等は変更となる場合があるため、最新情報はeALPSを確認すること）。講義資料、ZOOMミーティングID等の情報については、eALPSに掲載する。 第1回：4月21日（火）16:20～17:50 「サービス工学・サービスデザイン(1)」 講師：株式会社日立製作所 研究開発グループ Digital Innovation R&D デザインセンタ ストラテジックデザイン部 中川 忠輔 主任研究員 第2回：4月28日（火）16:20～17:50 「サービス工学・サービスデザイン(2)」 講師：株式会社日立製作所 研究開発グループ Digital Innovation R&D デザインセンタ ストラテジックデザイン部 中川 忠輔 主任研究員 第3回：5月12日（火）16:20～17:50 「システムアーキテクチャ」 講師：株式会社日立製作所 研究開発グループ Digital Innovation R&D システムイノベーションセンタ 社会インフラアーキテクチャ研究部 小林 雄一 主任研究員 第4回：5月26日（火）16:20～17:50 「ソフトウェアエンジニアリング」 講師：株式会社日立製作所 研究開発グループ Digital Innovation R&D システムイノベーションセンタ DXエンジニアリング研究部 川上 真澄 部長 第5回：6月9日（火）16:20～17:50 「セキュリティ」 講師：株式会社日立製作所 研究開発グループ Digital Innovation R&D システムイノベーションセンタ セキュリティ&トラスト研究部 藤尾 正和 主任研究員 第6回：6月23日（火）16:20～17:50 「データストレージ&IT運用管理」 講師：株式会社日立製作所 研究開発グループ Digital Innovation R&D デジタルインフラインノベーションセンタ サービスコンピューティング研究部 中嶋 法子 研究員 デジタルインフラインノベーションセンタ データストレージ研究部 藤井 裕大 研究員 第7回：7月7日（火）16:20～17:50 「ブロックチェーン」 講師：株式会社日立製作所 研究開発グループ Digital Innovation R&D デジタルインフラインノベーションセンタ サービスコンピューティング研究部 池川 航史 研究員 第8回：7月21日（火）16:20～17:50 「5G/6Gとビジネス応用」 講師：株式会社日立製作所 研究開発グループ Digital Innovation R&D デジタルインフラインノベーションセンタ エッジインテリジェンス研究部 光野 正志 主任研究員、植田 泰輔 主任研究員					
(4)成績評価の方法	各授業で課される小レポートにより評価する。レポートの内容や分量については、各授業の中で講師が指示を行い、提出期限は講義日から1週間以内とする。詳細はeALPSで周知する。					
(5)成績評価の基準	各授業で課される小レポートにより、当該課題に対する状況、問題点、今後の方向性及び学生自身にとって将来の研究活動にどのように役立てるかについての考察等を評価し、以下の基準により評価する。 ・合格水準にある（69点～60点）：各授業で課される小レポートで取り上げた課題について、基本問題を説明し、課題に対する既存の見解及び自身の今後の研究活動についての見解が提示されている。 ・やや上にある（79点～70点）：各授業で課される小レポートで取り上げた課題について、基本問題及					

(5)成績評価の基準	び今後の発展性について説明し、課題に対する既存の見解及び自身の今後の研究活動についての見解が提示されている。 ・かなり上にある（80点以上）：各授業で課される小レポートで取り上げた課題について、基本問題及び今後の発展性について説明し、課題に対する既存の見解に加え、自身の見解を適切に示し、それらが自身の今後の研究活動にどのように関連し役立てうるかについての見解が提示されている。 ・卓越している：「かなり上にある」のうち、示された内容が教員を感心させるレベルにあるもの。
(6)事前事後学習の内容	初回授業時までに、eALPSでオリエンテーション（研究課長による授業概要説明動画）を視聴すること。
(7)履修上の注意	・本科目は総合理工学研究科 情報数理・融合システム分野の大学院生(1年生・2年生)向け教育用科目です。 ・本科目については、授業担当教員への履修の意思表示は必要ありません。 ・本科目は、日立製作所の研究所から多彩な講師を招へいします。各回では可能な限り質疑討論の時間も設ける予定ですので、質疑討論には積極的に参加する心構えを持って受講してください。
(8)質問,相談への対応	・各回の授業内容に関する質問は、授業時に講師へ直接行ってください。 ・その他授業全般に関する質問等は、大学院室（daigakuin@gm.shinshu-u.ac.jp）へメールで問い合わせてください。
(9)その他	
【教科書】	教科書は用いません。
【参考書】	参考資料は授業中に適宜資料を紹介します。